

いろトルコードが読み取りにくい場合

- 画像がピンぼけしている

基本的には自動でフォーカスを合わせますが、機種によってはうまくあわずピンぼけしたままになります

画面内をタップするとその状態でフォーカスを合わせて、そのピント位置を10秒間保持しますので読み取りできるようになります

再度タップすればもう一度フォーカスを合わせにいきます

ただし、極端にいろトルコードのサイズが小さいと機種によってはどうしてもフォーカスが合わせきれずに終わってしまいます

- まとめて読み取りできない

カメラといろトルコードの距離が遠すぎると読み取りできません

いろトルコードのデザインによって読み取りできる距離は変わってきますので実際に近づけたり遠ざけたりして読み取り出来る距離を測ってみてください

距離を変えた場合、上記フォーカスとの兼ね合いもありますのでご注意下さい

- 全体的に赤い

照明の色が暖色照明、かつ基準となる白色が画面中心付近に無い場合は読み取り性能が低下します

名刺などの読み取りであれば白い紙の上などで読み取りさせると

安定した読み取りが期待できます

夕日が差し込む場合でも同様です

- 画面上の色いろトルコードが欠けて見える

いろトルコードの印刷面の表面が鏡のような役割を果たしてしまい、カメラの角度によっては蛍光灯などの強い照明が写り込む場合（正反射）があります

読み取りさせる角度を変えることで写り込まないようにできます

印刷面が光沢面だとこの現象は発生しやすくなります

また印刷面が湾曲している場合はさらに発生しやすくなります

端末のLEDを点灯させている場合は斜めからかざすと読み取りしやすくなります

- いろトルコードに欠損がある

いろトルコードの色の配列、並べ方、配色が RGB（またはそれに近い色）が条件を満たしていない場合には、読み取りできなくなることがあります
まずは確実に読み取りできるサンプルで確認してください

- 画面上に黄色や灰色の縞々が出る

一部機種では非インバータータイプの蛍光灯下でシャッタースピードが速い場合に CMOS センサを使ったカメラ特有のフリッカーと呼ばれる現象が発生します
フリッカーが発生するといろトルコードは読み取りにくくなります
デコーダ設定で「照明対策」を選択すると処理速度が遅くなる代わりに読み取りが多少改善されます
極端に発生する確認済みの機種

- Panasonic Lumix Phone
- HTC HTC J one

- 画面上のいろトルコードの色が実際よりも明らかに暗い

一部機種では色が極端に変化する部分の色を意図的に暗くするような処理が入っているためいろトルコードの色が暗く見える場合があります
デコーダ設定で「高感度」を選択すると読み取りの安定性が若干下がる代わりに読み取りが多少改善されます
極端に発生する確認済みの機種

- Sony Xperia Z1

- 画面上のエッジ部分が黒くなる

一般的なカメラでは明るさが極端に変化する部分（エッジ部分）を強調するため、ハイパスフィルタと呼ばれる処理を行ないます
機種によってはこのフィルタがあまりにも極端な場合があり、いろトルコードのエッジ部分を黒くしてしまい読み取りしにくくなる場合があります
デコーダ設定で「標準&ループ」を選択し、近づけて読み取りさせることで読み取りができるようになります
画面サイズの大きいタブレット機種などのほうがこの傾向が強くなります

※画面上の問題について

基本的に本アプリケーションではカメラのプレビューを使用します
機種によってフリッカーが発生したり、色が正しく表示できていない場合でも
カメラアプリなどでの撮影ではこの現象は発生しないことが多いです
このため、プレビューの画質が悪い=機種のカメラが悪いというわけではありません